

自己評価・外部評価・運営推
進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	企業理念を各ユニットや会議室などの常に目に入るところに掲示し、毎日唱和を行っている。職員会議にて企業理念の研修を行ったり、年度初めに理念に基づいた事業所目標を設定し、職員全体で理念の実践に努めている、			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々の買い物や病院受診の際など、地域の方と挨拶を交わしている。ボランティアの方々に来ていただいたり、数年ぶりに熊野町の敬老会にも参加をした。今後も感染対策は行いながらも、地域行事への参加を検討していく。 事業所主催の家族会も昨年度同様に感染対策を行いながら開催し、利用者様と家族様の交流が図れた。	地域交流等についての報告を行う。 家族会会長さんより「自分たちではなかなか出来ない。地域の交流の場に連れて行ってもらえる事やボランティアを呼んでもらって楽しませていただいているようでありがたいです」とお言葉をいただく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	行事、地域交流について、利用者様の生活状況について報告を行い、各委員よりご意見、ご助言をいただいている。頂戴した意見を書面にて周知し、話し合いが必要な項目に関しては、職員会議等で検討しサービスの向上に活かしている。	運営推進会議にて行事、地域交流、生活状況についての報告を行う。 「毎回2ヶ月間の報告を受け、様々な行事をしたり、握り寿司などの生ものをお出ししたりして、利用者様も喜ばれていると思います」「事故が起こってから、毎回事故の原因や再度怒らないような対策をたてられていて良いと思いました」とのご意見をいただく。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	役場は近隣にある為、些細な事でも相談をし、密に連絡を取り合っている。運営推進会議にも役場職員にご参加していただき、助言等をいただいている。また、運営推進会議の開催報告書は開催後に必ず提出を行っている。	BCP 訓練の報告を行う。 熊野町役場担当者様より「福祉避難所のマニュアルを熊野町で作直しています。それを基に施設の方で訓練を引き続き行っていただきたいと思います。」とご意見をいただく。		

				熊野町の福祉避難所設置・運営マニュアルの見直しをされた際に事業所のBCPマニュアルをお渡しして連携を図っている。	また、熊野町役場で行われる、福祉避難所訓練の見学をさせていただき、お互いの意見を共有出来る場を設けていただいている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正委員会を3か月に1回開催している。また職員会議や法定研修にて、身体拘束やケアのグレーゾーン、不適切な介護の排除に向けて、具体的な話し合いや講習の受講をしている。 また不適切ケアについては委員会を通して事例検討等を行うと共に、各事業所で連携を図り、正しいケアの実践に取り組んでいる。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適正な研修を受けられていると思います。利用者様の安全の事を考えると制限をしたくなる気持ちもあるだろうし、苦勞されることもあると思いますが、頑張ってください。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法定研修をはじめ、外部講師の研修、熊野町の虐待研修など様々な研修を受講し、あらゆるケースにおける虐待を知り、職員間での情報共有に努めている。 なぜ虐待が起こるのか、虐待をしないためのメンタルヘルスなど講習も外部の講師を招き、会社、職員全体で意識を高くもち、日々のケアでも虐待を見過ごす事なく、防止に努めている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いろいろな勉強をされていると思います。 介護の仕事をする上で、大切な事だと思いますので、これからも続けていってほしいです。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法定研修にて全職員学んでいる。 成年後見人制度について、自身で学んでいる職員もあり、知り得た情報を他職員に伝えていく事で必要性を学んでいる。 事業所として、成年後見人制度を取り入れている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の際には、利用者様とご家族様に十分な説明を行い、相違のないようにご理解していただいたうえで締結となるようにしている。解約、長期入院等の際などに生じる、家族様の不安や疑問にはその都度対応し、不安			

				の軽減や納得、ご理解していただけるように努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の生活の中や、2カ月に1回「よくしよ会」で利用者様からご意見をいただいている。 家族様からは面会の際や家族会等ででた意見や要望をお聞きし、必要に応じて対応している。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員さんだけでなく、利用者様から意見を聞いているのはとてもよい事だと思います。 面会の時も声をかけていただいて、何かあれば相談が出来てありがたいです。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に1回社内8事業所の代表者が集まる代表者会議において、事業所の運営に関する話し合いを行っている。 職員会議で、職員からの率直な意見交換を行う為、発言しやすい雰囲気作りや会議に参加できない職員への事前の意見収集などに努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	半年に1度、個人目標を設定し評価シートを作成している。定期的に面談をし、職員の成果や実績に対し評価を行い、仕事に対するモチベーションが上がるように支援している。 給与水準、昇給に関してもキャリアパスを連動した基準を設け、それらを就業規則に明確に記載し、職員に周知徹底を行っている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適切に職員の成果や実績に対して評価をして、就業環境の整備が出来ていると思います。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との面談や日々の業務姿勢から、職員1人1人の力量を把握するように努めている。必要と判断した場合には、内部研修、外部研修の参加も行っている。 採用時には新人職員に対する研修も行っている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員さんいろいろな人がいるから難しいと思いますが、これからも工夫をして頑張ってください。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修を通じて、他法人の方との交流や意見交換を行い、事業所内のケアに取り入れるなどして、ケアの質の向上を図っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的な、家事(洗濯物干し、洗濯物量み、食器拭き、裁縫、料理、掃除など)を利用者様の状態に合わせて役割を担っていただいている。それと同時に、その方の知恵や知識を教えていただく機会としている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症の行動制限の緩和により、家族様だけではなく、地域の方やご友人の方が面会にお越しいただくことが増えた。外出時間は半日程度と規制させていただいているが、ご自宅に帰られたり、家族様に会いに行かれたりされている。 また、熊野町内の馴染みのある場所に出かけるなどの工夫をしてこれまでの生活を大切にしていただけるように努力している。	事業所より日々の活動等について報告をする。 民生委員さんより「まだコロナもインフルも安心できるようなご時世ではないけど、利用者様の為にはとてもうれしい活動ですね。大変だと思いますが、続けていてもらいたいです」とご意見をいただく。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のカンファレンスでは、利用者様1人1人、ケアプランに沿ってケアの方針を検討している。日々の暮らしの中での本人の意向をお伺いし、日常生活のケアに反映できるように日頃からコミュニケーションをしっかりと取っている。入居時には、ご本人または家族様からこれまでの生活環境や過ごし方をお伺いし、その生活が出来る範囲で続けられるように心がけている。			

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様、家族様の希望をお聞きし、毎月のケア検討会議、個別でのカンファレンスを開き、他職種で協議を重ねた後、介護計画を作成している。 利用者様の担当職員が中心となってケアプランのモニタリングを行い、その方の現状に合ったプランへの見直しを行っている。	ケアプランの作成、会議等での取り組み、モニタリングについての報告をする。 民生委員さんより「1人1人人間が違うので別の関わりをしないとイケないですね。介護職員さんだけでなくたくさんの方の意見を聞かれるというのはとてもいいですね」とご意見をいただく。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケア会議をしっかりとされている事、事故があった時も検証して対応策なども考えられていて良いと思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録を電子カルテで個別記録(ケース記録)にこまめに入力している。記録により職員間で情報を共有し、介護計画の見直しを行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録の大切さは様々な場面で実感されていると思います。機械を使うからこそ分かりやすかったりすると思います。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ育つニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様からのリクエストをきいて行事を行ったり、四季を感じていただくための外出支援等も行っている。 看取り期では、本人様と家族様の意見をその都度確認し、対応している。 身体機能、健康の維持、向上に向け社内の管理栄養士による栄養指導や、外部の理学療法士の指導のもと個々に応じたプランの立案、実施している。 成果についても、都度報告を行い、アドバイスを受け、必要があれば、プログラムの変更等を行っている。	事業所より、利用者様の個別ケアについての報告を行う。 「四季折々工夫されているのがとてもよく伝わってきます。実際に看取りをされた方も安心されていたのではないかと思います」とお言葉をいただく。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括センター、近隣の医療機関との連携、運営推進委員会のご協力がある。 地域のボランティアの受け入れや、地域カフェの参加など、地域の方との交流も増やしていけるように引き続き参加していく。 今後も地域資源が今どのようなものがあるのかを把握し、協力できるように努めていく。	民生委員さんより「地域カフェにも参加をしていただいて、利用者様に喜んでいただけているのであればとても嬉しいです。これからも、地域の交流の場として活用していただけると良いと思います」とご意見をいただく。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	かかりつけ医とは、すでに馴染みの関係にあり、利用者様の体調も把握され信頼関係を築けている。また、24時間連絡が取れる体制をとっている為、利用者様の異常の早期発見につながっている。職員は電子カルテ、申し送り等を通じて常に利用者様の体調を把握しており、受診を共にしている。看取り期には、医師、ご本人、家族様、事業所間で連携を図り、利用者様と家族様の思いを大切にしたケアを心がけている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入院時、サマリー(アセスメントシート)を準備し医療機関に情報提供することで入院先での適した支援に繋げている。 担当医より、入院期間、今後の見通しについて説明をいただき、看護師、相談員等と連絡を密にとり情報交換を行い、退院後のスムーズな支援に努めている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	高齢者の方々なので入院をされる事も多いと思います。病院にいるから大丈夫というわけではなく常に連絡を取られているのはよいと思います。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居契約時に、終末期のご意向の確認、事業所の指針、支援内容、協力医の対応についての説明を行っている。重度化時には、その都度医師の確認書を作成し、ご本人、家族様、医師、事業所で話し合う機会を設け、今後予想される状態、これから望まれる生活やケア対応を確認しあっている。その後、職員に情報共有をし、ご意向に沿ったケアを行っている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	看取りというのは家族、本人にとってもとてもデリケートな問題だけど、大切な事なので、しっかりと話し合いをされていて良いと思います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法定研修、オンライン研修にて急変時、事故発生時の対応について研修を行っている。また、毎年、救命隊員の方に来ていただき救命救急講習を受講している。看護委員会による、急変や事故発生時の初期対応など			

				の内部研修や、事業所での訓練も定期的に行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災の年間計画に基づき、消防署に要請を行い、避難訓練・消火訓練・通報訓練等の防災訓練を年2回以上実施している。 非常災害対策委員会にて、非常災害時の業務継続計画を作成し、風水害・地震等を想定した訓練を行い、都度計画の見直しを行いながら職員全体への対応の徹底を図っている。 非常時に備え、飲料水、食物の備蓄を行い、半年に1度賞味期限の確認や不足がないか確認をしている。 福祉避難所としての対応についても毎回の訓練時に、受け入れ体制の確認、備品のチェック等を行っている。 地域で開催されている「防災・減災まちづくり会議」に参加している職員がおり、災害に対する知識について知り得た情報を事業所内に発信して共有してもらっている。 実際の災害時に冷静且つ的確に全職員が対応できるようにマニュアル通りに行動するように徹底する事、必要があれば見直しを行う、日々の訓練時に様々な状況を想定して訓練を行う等の工夫をしていく必要がある。	事業所より災害対策に対する報告を行う。 安芸消防署の職員さんから「避難訓練を定期的にされていて素晴らしいと思います。落ち着いて行動することが大切です。また消化器の使い方も自主的に訓練をされており、関心しました」 「地震の訓練に関しては、職員の方の安全も守っていかないといけないので、シェイクアウト訓練といって揺れがおさまるまで机の下に隠れておくという訓練もしっかりと行っていたきたいと思います」とご意見をいただく。 民生委員さんより「地震速報が出てからの行動はとても大切だと思います。そのための訓練は大変だと思いますが、頑張ってください」「裏の竹やぶが災害時の事を思うと少し気になります」とのご意見をいただく。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災の年間計画に基づき、年に2回以上の防災訓練を実施されていて、飲料水等の備蓄も適切にされている。 地域会議や役場の訓練等にも参加をされて充分に体制を整えられているように思います。 様々な状況を想定して行う訓練はと手も重要だと思いますので、頑張ってください。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のケア検討会議では、尊厳やプライバシーに配慮した声掛けや対応が出来ているかを振り返り、共有し、意識の向上を図っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	広報誌や写真などを掲載されているが、個人情報の保護にはとても気を付けられているのだと思います。

				個人情報の漏洩がないように、記録物の管理等の徹底をしている。			
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者様1人1人に合わせた個別ケアを意識している。起床時間や入室時間など個々に合わせて調整をし暮らしやすい環境にするため、日常生活の中でご本人に希望をお伺いし、職員同士で共有を行っている。利用者同士の対応が重なってしまう事もあり、その方のペースに合わせたケアが出来ない場合もあるが、職員同士で声を掛け合いその人のペースに合わせたケアを心がけている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月の行事食として季節や行事に合わせたメニューを考え、旬の食材を使った料理を提供している。自施設で野菜を作り、日々の手入れや収穫まで一緒に行い、食への楽しみを感じていただけるように工夫している。下ごしらえや調理も毎日ではないが、安全を考慮しながら行っている。食後には食器拭きや食器の片づけなども一緒にしていただいている。 2カ月に1回は利用者様全員にお集まりいただきお茶会をしながら、その時期に食べたいものや食事のリクエストなどをお伺いし、日々の食事や行事食に反映させている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	行事食はいつも広報誌や掲示物を見て楽しそうだなと思います。コロナ禍で制限がまだまだ世の中ではあるが、その中でも家族が集まる会をされたりと工夫をして楽しみを作られていて良いですね。 畑で野菜を育てられているのも利用者様にとっても刺激になるし、季節を感じる事が出来るので続けていってほしいです。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎食の食事量、水分量を介護記録ソフトに入力し、職員間で情報共有を行っている。 利用者様に合わせた食事・水分形態で提供できるように、常に介護士・看護師と情報共有を行い、必要な場合			

				には内科医、歯科医にも相談を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	歯科往診が週に1回あり、治療・指導を受けている。また月に1回歯科医師の口腔に関する研修・ケア指導を活かし、利用者様1人1人に合わせたケアを行っている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	口の中をきれいにする事は健康状態に関わってくるので、個人に合わせてケアを頑張られていると思います。これからも大事にしていってほしいと思います。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	介護記録ソフトを使用し、排泄記録をつけ、1人1人の排泄パターンの把握に努めている。介助が必要な方も排泄サインを見逃さず、可能な限りトイレでの排泄を促すなど個々のケアに取り組んでいる。 日中は出来るだけ体を動かしていただけるように工夫し、排便コントロールができにくい方には出来るだけ下剤に頼らないように、牛乳を飲んでいただくなどして、便秘予防にも努めている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ここでは1人1人にあったケアをされていてすごいと思います。 その人に合わせた時間や物を使用していることはとても良い事だと思いますので、引き続きよろしくお願いします。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入浴用のリフトを使用し、車いすの方でも湯船につかっていただいている。業務の都合上、入浴時間を決めてしまっている為、好きな時に入浴できるような環境にするために業務時間の調整、工夫をしていこうと考えている。だが、その中でもその方のタイミングに合わせて入浴していただけるように声をかけている。 冬至の際にはゆず湯を楽しんでいただくなど、普段の入浴の時間にも楽しみを見つけていただけるような工夫をしている。			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ひとりの身体状況やその日の 気分に合わせて休憩時間や、睡 眠時間を設けている。居室の室 温、湿度も定期的に確認をし、 安眠できる環境づくりを心がけ ている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	内服薬に関する情報を書類にま とめて、職員全員と共有をして いる。薬の変更、頓服薬の内服 等についても記録に残し申し送 り事項として共有をしている。 服薬マニュアルに従い、安全な 服薬介助、管理に努めている。 また、様子の変化などの気づき は、看護師に報告後、提携医に 連絡し、指示を仰いでいる。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	薬は命に関わることもあるかも しれないので非常に注意が必 要です。決まり事をしっかりと 作られていて良いと思います。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者様の出来る事や得意な 事を把握し、他の方との調整を しながら、家事等をお願いして いる。レクリエーションも人によ っては一人で楽しみたい方もい らっしゃるので、その方に合わ せた楽しみ方ができるように工 夫をしている。気分転換に、散 歩にや外出の時間をもうけ毎日 の生活を楽しんでいただけるよ うに支援をしている。	事業所より利用者様の支援につ いて報告をする。 民生委員さんより「様々な人が いらっしゃるけど職員さんの人 数は決まっているし大変だと思 いますが、一人一人との関わり をこれからも大事にしていって いただきたくです」とご意見を いただく。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよ う支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	業務の都合上、利用者様の出 かけたいタイミングでお連れす ることが難しい場合があるが、 出来る限り外出の時間を設ける ようにしている。昔よく行かれ ていた場所に花見や初詣に行っ たり、日々の買い物と一緒に付 き添っていただいたりしている。 家族様と外出される機会も昨年 より増えている。	事業所より外出支援についての 報告をする。 民生委員さんより「コロナやイ ンフルに気を付けないといけな いので、大変だと思いますが、 外出は施設の行事と違った楽し さがあると思いますので続け ていってほしいです」とご意見 をいただく。		
37	お金の所持や使う ことの支援	職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	金銭管理は家族様にお願いをし ている。物品購入の希望がある 際には家族様にご連絡をし、立 て替え払いで購入をしている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望があった際には、電話で家族様とやりとりをしていただいている。 個人で携帯電話を持たれている利用者様に関してはご自身のタイミングで連絡を取られている。 家族様からの手紙が届いた際には、返事を書いていただく事が出来るように支援をしている。 毎年、夏には暑中見舞いを家族様にお送りしているが、今年度は体調不良が多く出たため作成する事が難しかった。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歩行の妨げにならないように、通行する場所の足元に物を置かない、居室内の手すりのない場所には手すりの代わりとなるような台を置いたりして身体機能の維持に努めている。 季節毎に作品を作り各ユニットに掲示、季節の花を飾る等の工夫をし季節を感じていただけるようにしている。食事はユニット内にキッチンがありリビングから調理の様子も見れるので、五感で楽しんでいただく事ができる。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人1人の身体機能に合わせて適切な対応が行われている。 食事では食べるだけでなく五感で感じて楽しんでいただけるような工夫がされていて良いと思います。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ごはんが美味しく食べられている。 うるさい人もおらず、ゆっくり過ごせている。食事がしっかりしていて満足している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	みんなで一緒に自然とできている。 職員きっかけで始まるのですべて自分ではないが、できることは自分ですべてさせてもらっている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何か不調があればすぐに言えるし、聞いてもらえる。安心して安全に生活できているので、充分。できないところは職員が助けてくれている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様が一番近くで、普段感じられているので、充分だと言っていたけのは、職員さんの接し方がよいのではないかと思います。

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☒ ① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に言うことがない。職員がやさしいのでゆっくり出来ている。自分のペースでなくても、人の手を借りないと出来ないから仕方がない。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	☒ ① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	東京の方に住んでいる娘がくれた服をずっと着ているし、娘が持ってきた写真を飾っている。趣味で書いてくれた書道を飾っている。		☒ ① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家として生活していただくにはとても大事なことだと思います。利用者様からこうしてお声をいただいているという事はしっかりとされているのだと思います。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている ☒ ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	娘が主によく連れ出してくれている。自分のタイミングで外には出られないけど時々外に出たりするととても楽しいし、気持ちがいい。	民生委員さんより「感染症のこともあるので、難しいとは思いますがその中でもドライブに行かれたり工夫をされていて良いと思います」とお言葉をいただく。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	☒ ① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分に出来ることはしている。行事などのイベントはいつも楽しく参加している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	☒ ① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	あんまり大勢で騒ぐのが好きじゃないので今ぐらいの生活が丁度いい。職員が良くてくれている。他の人と話が出来て楽しい。		☒ ① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人と話をするのが好きな人は、他の方とお話をする環境がたくさんあって嬉しいと思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている ☒ ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の車もないし、自分のタイミングで外出できない。外出して知り合いに会う事が出来てうれしかった。	事業所より地域交流の報告を行う。民生委員さんより「地域の交流の場として認知症カフェ、地域カフェの参加をしてみてください、待ってます」とご意見をいただく。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	☒ ① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員のおかげで生活が出来ている。不満がない。職員みんなが優しくて口うるさくないから、ゆっくり過ごせている。自分の家みたいに過ごせている。ここ以外に行くところがないし、誰かの手を借りないといけないのは分かってるからここで生活していく。	家族会会長さんより「自分で介護をしているとできないような事をここではしてくださっているので安心していきます。ありがとうございます」とお言葉をいただく。	☒ ① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様から自分の家みたいだと言っただけなのが一番だと思います。会議の時に写真などを見させていただくと本当に皆様素敵な表情をされていて、楽しんで過ごされているのがよくわかります。